

天皇誕生日祝賀レセプションにおける川原英一大使からの御挨拶

2016 年 11 月 30 日(水)

午後 12 時半から カミルアル・ホテル

カブレラ副大統領閣下、
諸大臣閣下、
国会議員団の皆様、
経済界・学界関係者の皆様、
親愛なるプレス関係者、
在留邦人の皆様、

ようこそ、お越し下さいました。

今上陛下は今年 12 月で 83 歳におなりです。
今年は、日本とグアテマラ外交関係 81 年目でもあります。

モラレス政権が今年 1 月 14 日に発足し、厳しい財政の中、新たな試みをされておられます。この国の子供達の将来がより明るいものとなることを期待しております。

さて、

日本とグアテマラの交流の歴史を書物で最初に確認できるのは、1905年にエンリケ・ゴメス・カリージョが日本を訪問していたことです。当時、パリに留学していたエンリケが、ある大きな出来事をきっかけに、日本とはどのような国、日本人とはどのような人なのか、大いに興味を持ったようです。日本人のスピリッツ(魂)、武士道などについて述べています。

その頃の日本は、欧州の産業革命から1世紀遅れて、産業振興、国際化を進めていましたが、貧しい日本人も多くおりました。エンリケは「誇り高く優雅な国、日本 El Japon Heroico y Galante」という題名の本で日本社会を描いていました。

今年、リオで夏のオリンピックが開催されましたが、次のオリンピックの開催地がどこか、ご存じでしょうか。2020 年夏のオリンピックは、東京で開催されます。日本での夏のオリンピック



は、52 年前の 1964 年に開催されたのに次いで 2 回目です。



グアテマラに日本から派遣されているボランティア協力隊員は、これまで 700 名を超えます。各隊員は地方自治体に派遣されて、2 年間、地域コミュニティーの課題を地域住民と共に考え、解決に向けた活動を行っています。現在、47 名の隊員が 15 県で、栄養改善、母子健康増進、環境教育・ゴミ処理、算数教育の向上など多様な分野で活躍中です。最近、体操・水泳・野球などスポーツ分野の協力隊員を増やしております。



今年 9 月、欧州で開催された体操世界選手権にグアテマラから出場したホルヘ・ベガ選手が、金メダルを獲得しています。素晴らしい結果をグアテマラの人とともに私は大いに喜んでおります。ホルヘ君は、昨年 8 月、日本体操協会から東京での 1 月間の合宿に招待されて、リオ・オリンピックで金メダルを獲得した内村君らと一緒に練習をしていました。その経験も役に立ったのではないかと思います。

この国の優秀な若者を、日本の大学での Post Graduate Studies などのため、毎年派遣しています。今年も 8 名の方が日本に派遣され、数年間の研究活動を開始しています。今日の参加者の中にも元国費留学生の方が参加されています。



また、地方自治体の能力強化、地域警察、防災対策など多岐の分野での研修を受けるため、当国から、毎年 30－40 名の方が訪日しております。これまで日本での研修を受けたグアテマラ人は 2 千名を超えます。(現モラレス政権下の) ロペス教育大臣、チャンエネルギー大臣、モイール開発企画庁長官も訪日研修員として派遣されています。



日本とグアテマラの技術協力の一例として、この国の小学校算数教科書は日本とグアテマラ政府との協力で作成され、2007 年から小学校で利用されています。今後、日本の支援で中学校教科書も作成されて、2019 年 1 月から使用開始される予定です。また、当大使館は小学校の校舎再建を支援をしており、これまで全国 309 校の校舎改修が実施されました。

若手研究者などを対象に日本を見てもらふ訪日プログラム「Juntos」が、今年から新たにスタートし、中南米地域から 100 名の方を日本へお招きしました。当国からは 5 名の方が参加しました。訪日後、自らの目で見た日本について



て、当地の各大学で語ってくれました。こうした日本とグアテマラの交流を通じて、日本を身近に感じ、理解が益々高まることを願っています。

最後に、当大使館および私個人に対して、皆様、お一人お一人からお寄せ頂きました御支援・御協力に対して、深く感謝を申し上げます。

ご静聴、有り難うございました。（了）

